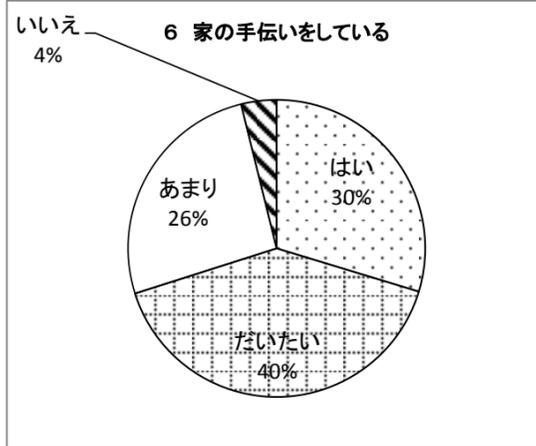
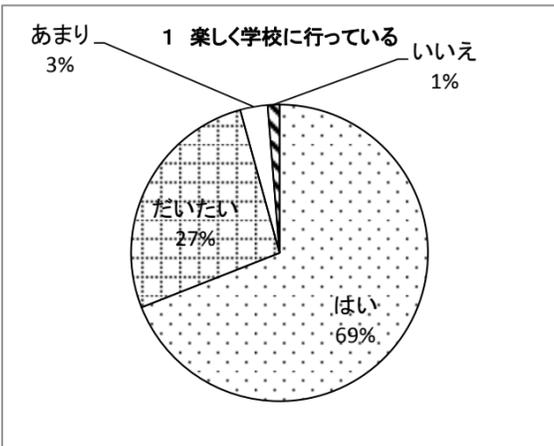


# 保護者の皆様による「よりよい学校を作るためのアンケート」集計報告

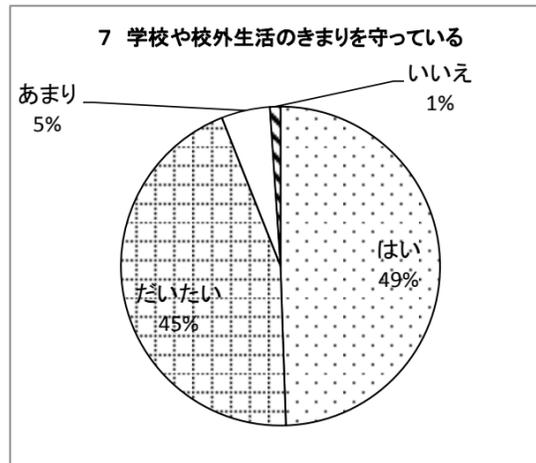
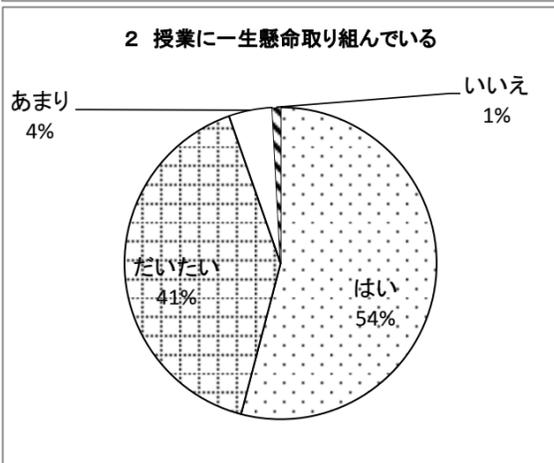
「よりよい学校を作るためのアンケート」へのご回答ありがとうございました。回答していただいた保護者の皆様の結果を集計し、紙面にてご報告します。

「学校は楽しいところ」と感じてもらえるよう、「一人一人が大切にされ、安心できる居場所となる学級づくり」を重点として取り組んでまいりました。96%という多くの児童が楽しさを感じてくれている一方で、「あまり、いいえ」という回答が4%存在していることを見逃してはいけません。強く感じています。学習や友人関係等、子どもたちの不安や辛さに対して細やかに目を配り、対応していきたいと思ひます。



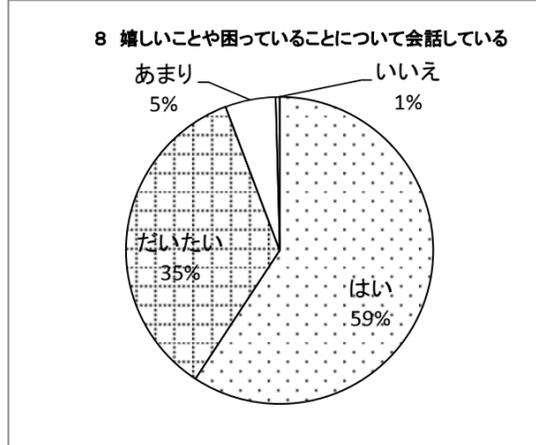
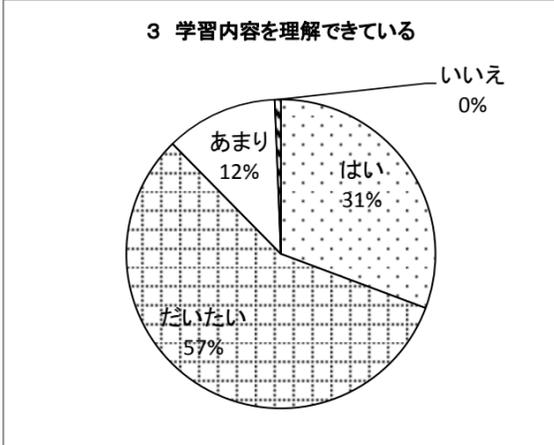
昨年度に続き、かなり評価が低い項目でした。家族の一員として、自分ができることに取り組んでいくことは、自己有用感を高めることにつながります。また、自分の力で生きていく力の源にもなります。働くことのすがすがしさも感得することでしょう。学校生活でも、自分のことをきちんと行うとともに、当番活動や係活動、委員会活動など、学校という社会の中で位置づけていきたいと思ひます。

多くのお子さんが授業に対して真摯な姿勢で取り組んでくれているという結果となりました。学ぶことの楽しさや、自己の高まりを感じる喜びが味わえるよう、授業の工夫に努めていきたいと思ひます。授業に主体的に臨むためには、生活のリズムや家庭学習など、ご家庭にご協力いただくところもありますので、今後とも宜しくお願いします。



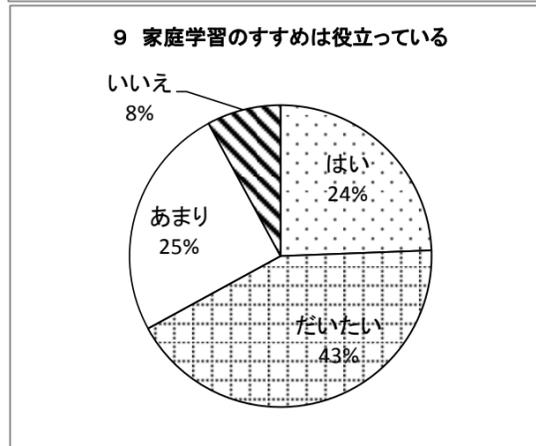
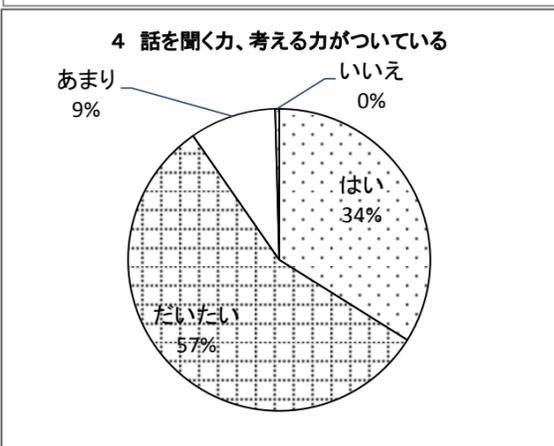
94%のお子さんがきまりを守って生活していることから、そのよさや大切さを感じ取っていることがわかります。特に校外生活では、拘束が少なく自由な時間であるため、各自の力に委ねられる部分が大きくなります。自己管理ができると、やがて社会に出たときにも自己統制力が発揮できるのではないのでしょうか。きまりを守ることのよさや大切さについては、日常生活や道徳の授業等で考えていくようにします。

昨年度よりわずかではあります。しかし、「はい、大丈夫」という回答が減っています。新学習指導要領の中で大切にされている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善に努め、職員研修にも力を注いでいきます。「あまり」と回答された12%の児童の皆さんには、つまずきを見極め、丁寧に対応していくよう心がけていきます。また、子どもたち同士の学びも大切にしていきます。



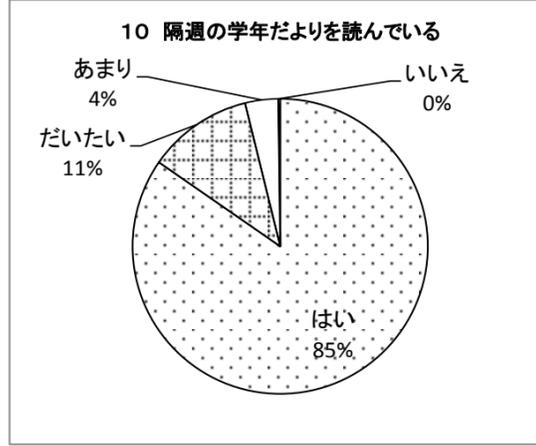
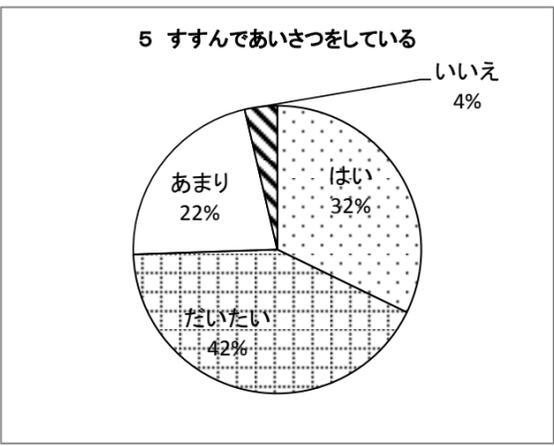
各ご家庭で、お子さんの話を大切に聞き、受けとめてくださっていることがよくわかります。学校では保護者の皆様、家庭では担任はじめとする職員が、一番身近にいる大人として、お子さんの心に寄り添っていかねばなりません。話を聞いてくれる存在がいるということで、人は安心を得ます。学校職員もお子さん一人一人の心に寄り添い、声かけをし、話をきくことを大切にしていきます。

「話を聞く力」は「考える力」と共存するものです。聞きたくなる場面、考えたいくなる問いを授業の中にいかに位置づけていくかが重要です。一斉学習の形態から脱却し、児童自らが課題を追究し、友と意見を伝え合い、自分の考えを高めたり広げたりしていかなければなりません。自分の考えをもち、友の考えとの違いや類似点を見極め、新たな価値の形成につながるような授業を考えていきます。



最も評価の低い項目となりました。家庭学習のあり方をまとめたものですが、4月に配布後、なかなか扱うことができずに過ぎてしまいました。定期的に見返したり、自分の家庭学習への向かい方を振り返ったりすることで、学習のあり方もかわってくるかもしれません。ご家庭の皆様にもご協力をいただきながら、子どもたちに必要な学習のあり方を考えていきたいと思ひます。

「あいさつ」は昨年と同様「はい、大丈夫」の回答が低く、学校職員も課題に感じているところ。教室等の限られた空間では大きな声であいさつができる子は多いのですが、登下校時や廊下でのあいさつが消極的です。職員から積極的にあいさつをしますが、なかなか声が出ないことがあります。人と人をつなぐ大切なツールですので、継続的にあいさつのよさを伝えていきたいと思ひます。



学校での生活や学習の様子をお伝えしたり、教師の願いなどをこめたりして、学年だよりを発行しています。多くの保護者の皆様に読んでいただいていることがわかり、大変嬉しく感じます。今後も、学校の情報を発信していくツールとして、学校での様子をお知らせするとともに、確かな情報をお伝えできるよう、努めていきます。

今後は、子どもたちのアンケート結果集計と職員による自己評価、及び学校評議員の方々による評価を加え、総括を公表いたします。これからも、よりよい神川小学校となるよう、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。